

住人十色

第 154 回

小田で出会い切磋琢磨した二人が 英語スピーチコンテストでW入賞

内子高校小田分校2年

山口 泉^{いずみ}さん 東京都

平岡このはさん 久万高原町



◎平岡さん(左)と山口さん。国際交流部門の4人はみんな寮生で、毎日夜8時まで勉強して一緒に寮に帰る。仲が良くて楽しそう

「全国商業高等学校英語スピーチコンテスト愛媛県予選」で、小田分校の平岡このはさんが最優秀賞、山口泉さんが優秀賞を受賞しました。平岡さんは9月に東京都で開催される全国大会に出場します。

二人は地域共生部・国際交流部門に所属。熱心な仲間4人で、英語の勉強などに取り組んでいます。スピーチコンテストは原稿作りを含め1〜2カ月という準備期間でしたが、毎日1時間は先生に指導してもらい、発音や表現方法を磨きました。英語が苦手だったと言う平岡さんは

「一緒に学ぶ仲間に出会い、英語の面白さに気付けた」とにっこり。特に山口さんの存在が大きかったそうで「山口君は努力家。頑張る姿を見て、私もくじけずに続けることができた」と感謝します。山口さんは「これからも切磋琢磨して成長したい。全国大会では努力してきた自分を信じて臨んで」とエールを送りました。

平岡さんの英語スピーチのテーマは小田分校の存続。この春、廃校を回避したことに触れ、「先生や地域の人々の思いを肌で感じて感動した。将来は教師になって小田分校の教壇に立ちたい」と夢を語っています。小田に来てよかったと口をそろえる二人は、「私たちが成長すること、小田分校の未来に貢献したい」と思いを語りました。

編集 幸記

▽たいよう農園の10万本のひまわり。町のインスタ「うちコト」を見て行っただという人が多く、「バズるってこんな感じ」と驚きました。目標のフォロワー数3千人まであと少し。今後ますますきな情報を発信するので、フォローがまだの人はぜひ(裕)

▽東自治センター勤務だった9年前、職員として立川軽トラ市の立ち上げを手伝いました。地域の皆さんと議論して迎えた第1回が懐かしいです。どんどんすてきな空間になる軽トラ市をぜひ訪れてみてください(史)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

